

フランス・ベルギー出張報告

平成 25 年 9 月 26 日

9 月 22 日から 25 日の日程でフランス、ベルギーを訪問しました。フランスではMontbourg生産復興大臣、Bricq貿易大臣、Schubert外相特別代表と、ベルギーでは欧州委員会De Gucht委員(貿易担当)、欧州議会Morillon国際貿易委員会委員長とバイ会談を実施しました。

1. フランス

Montbourg生産復興大臣、Bricq貿易大臣及びSchubert外相特別代表と会談を行い、いずれの会談においても、本年6月のオランダ大統領訪日の成果を具体化し、日仏間の産業協力と経済関係の深化をさらに進めていくべきことで一致しました。また、仏側から安倍政権の経済政策(アベノミクス)が高く評価されました。さらに、日 EU・EPA は両国の経済発展に有益であり、推進させるべきことで一致しました。

Montbourg大臣とは、次回の「日仏産業協力委員会」を10月29日に東京で開催することを確認し、繊維、ロボット、スマートグリッドの3つのワーキンググループで協力を具体化していくこととなりました。スマートグリッドワーキングについては、我が国での事業に対する仏企業の参加に関心が示されました。また、繊維ワーキングについては、我が国の炭素繊維技術を使って、高々度を飛行可能な飛行船を開発するプロジェクトの具体化を進めることで一致しました。

Schubert特別代表とは、日 EU・EPA 交渉の推進の必要性で一致しました。また、原子力、スマートグリッド、安全保障分野について今後協力を進めていくことで一致しました。

Bricq大臣とは、我が国との貿易投資関係強化、原子力の第三国市場協力の推進及び日 EU・EPA 交渉の推進が必要であることで一致しました。また、12月17日に予定されるジェトロとユビフランス(フランス企業振興機構)の会合に向け、具体策を協議していくことを確認しました。



シュヴァイツァー特別代表との会談
(フランス外務省はまるで宮殿の様な建物です)



モンブール生産復興大臣との会談



ブリック貿易大臣との会談
(こちらはセヌ川を見下ろす現代的ビル)

2. ベルギー

欧州議会モレイラ国際貿易委員会委員長からは、安倍政権の経済政策が高く評価されました。また、日 EU・EPA は、日 EU の経済関係拡大のみならず、世界の貿易・投資ルール作りを先導する意味で重要との理解で一致しました。

欧州委員会デ・グフト委員(貿易担当)とは、協議が大きく進展し、物品とサービス分野に関するオファーをできるだけ早く交換することで合意しました。事務方に今後の交渉加速化を指示し、11月の日 EU 定期首脳協議で日 EU・EPA の早期妥結を目指すとのメッセージを出すよう双方の首脳に要請することにしました。



デグフト委員との共同記者会見



モレイラ委員長との会談